



"To acknowledge the duty that accompanies every right"  
 Affiliated with the International Association of Y's Men's Clubs

# THE OSAKA CENTENNIAL

C/O OSAKA YMCA  
 1-5-6 TOSABORI, NISHI-KU,  
 OSAKA, JAPAN

November 2000 No.5  
 Chartered July 20, 1982

標語 YS SLOGANS (2000~2001)	
クラブ会長	『私が育てるワイズ 私を育てるワイズ 私とワイズの共有』
国際会長	"Equipped for a Purpose" 『常に備えあれ、目的に向かって』
アジア会長	"The new millennium, the new Y'S men" 『ニューミレニアム、ニューワイズメン』
西日本区理事	『イノベーション(革新) 一理想のワイズを求めて』 "What is the ideal Y's?"
中西部長	『人ワイズに集い、夢限りなし』

クラブ役員 Officers	
会長	: 畠中 彬
副会長	: 川村 一夫
副会長	: 中村 茂高
書記	: 山田 孝彦
会計	: 三浦 直之
ネット会長	: 畠中ひろみ
連絡職員	: 神田 尚人

## 月間強調テーマ : 『BF』

《《《《 11月の聖句 》》》》

【 Biblical Message of the Month 】

主よ、どのような人があなたの幕屋に宿り、聖なる山に住むことができるのでしょうか。それは完全な道を歩き、正しいことを行う人。心には真実の言葉があり、舌には中傷を持たない人。友に災いををもたさず、親しい人を嘲らない人。主の目にかかわらないものは退け、主を畏れる人を尊び、悪事をしないと誓いを守る人。金を貸しても利息を取らず、賄賂を受けて無実の人を陥れたりしない人。

これらの事を守る人は、とこしえに揺らぐことがないでしょう。  
 (詩 編 15章1~5節)

《《《《 11月第1例会 》》》》

【 November Regular Meeting 】

日時: 2000年11月15日(水)

場所: ホテルサンガーデン堂島4F

司会: 堀井由里子君

1. 開会点鐘 畠中 彬 会長
2. ワイズソング ー 同
3. 聖句朗読 中村隆幸君
4. ゲスト紹介 畠中 彬 会長
5. 日々の糧・晩餐 ー 同
6. イベント(切手整理) ー 同
7. ちょっとスピーチ

「ブラザークラブを訪問して」中村茂高君

「南仏スペインドライブ紀行」隅田メネット

8. お誕生日祝い ー 同
9. ニコニコ献金 ドライバー
10. 報告タイム 役員・連絡職員
11. 閉会点鐘 畠中 彬 会長

《《《《 Attention Please 》》》》

1. 11月の第1例会は切手整理を致します。「ハサミ」をご持参の上、ご出席下さい。
2. 12月の例会は次の通りとなります。

第1例会 12月9日(土) 合同クリスマス例会

例会 17:00~17:30 YMCA土佐堀館904号室

礼拝 18:00~18:45 大阪教会

祝会 19:00~20:30 YMCA土佐堀館9F

第2例会 12月20日(水) ホテルサンガーデン堂島

役員会 17:30~18:30

納会 18:30~20:30 詳細は後刻通知致します。

《《《《 11月の例会当番 》》》》

第2班の皆様です。よろしくお願ひします。

(中村隆、堀井、神田、森田)

《《《《 11月のお誕生日 》》》》

下記の方々です。Happy Birthday!

池永洋10日、川村2日、栗山8日、山村6日、  
 畠中メネット2日、松浦メネット9日

### 【クラブ統計 Statistics】

2000年10月		種別	第1例会	第2例会	BFポイント	ニコニコ献金
在籍会員	22名	メン	12名	8名	10月:切手 363 gr	10月: 23,000円
例会出席	12名	メネット	3名	1名	現金 2,000円	
メイクアップ	2名	ビジター	0名	名	累計:切手 2,843 gr	累計: 98,058円
出席率	63.6%	ゲスト	0名	名	現金 11,240円	(除Xmas献金、オー
(Attendance Ratio)		合計	15名	9名	(明細はP3 "BF報告" 参照)	クション、記念献金)



《《《《 今月の聖句に寄せて 》》》》

「幕屋」とは、遊牧民の生活に欠かすことのできないテントのことですが、ここでは「神のもとに宿る」ことを意味しています。

上記聖句の3行目から7行目に書かれている行いはあまりにも完全な生き方であり、過ちの多い日常生活を送っている私達にとっては到底できない事柄かもしれません。

しかし私たちの理想の姿、努力目標として捉えるならば、反省を促す言葉として迫ってくるではありませんか。

「金を貸しても利息を取らないことが正しい生き方」とされていることは、現代の資本主義社会では考えられない点ですが、当時の社会では是とされていたのでしょうか。

全体としてここでは否定的(ネガティブ)な行為を挙げていないのは、詩編の作者の理想を追い求めていた姿が彷彿と浮かび上がりますが、何事でもネガティブな意見からは生産的なものは出てこないと私は考えております。

(聖句選、コメント：黒田巖之)

《《《《 Club Activities 》》》》

Our club's workshop for promotion of the EMC activities was held at the Osaka Pref. Youth Marine Center in Tannowa near Wakayama on October 8-9. 15 members and Y's menettes stayed overnight there.

For the dinner on the first night we enjoyed fresh sea food BBQ near the sea shore. Following the dinner we spent the whole night, discussing how to recruit new member for our club.

We finally ended up with setting up a task team to work out a plan as to how to make our club more attractive to prospective young candidates..

On the second day, we enjoyed outing programs-such as rowing a "cutter boat" with the crews whose average age was well over 60. Its cock role was played by 88-years-old Kensuke Suzuki.(Kindly look at the picture on the right page. The first from the right in the front was PIP Kensuke Suzuki.)

Everybody rowed the huge boat so hard that we managed to go out the sea by 1 km and came back to the shore safely Viva Centennial Y's Men!!



《《《《 10月第1例会 》》》》

【 Report of the October Regular Meeting 】

(10月8日(月)・9日(火) 15:30~13:00p.m.)

広報委員長・藤原正巳

10月第1例会は、大阪府立青少年海洋センターでのEMC一泊研修として開催されました。

第1日の夜は島中会長の配慮によりとれたての新鮮な魚介類による豪華バーベキュー・パーティーとなりました。

神田君の指導による火の起こし方がスタートの合図となり、試食の名目で早くも午後4時半頃からパーティーが始まりました。森田君のプロ並みの鮮やかな手さばきによるヤキソバの実演、なかのしまクラブ鍛冶田さん一家の飛び入り、高歌放吟する昔の若者連など賑やかな一時でした。

パーティーの酔いも覚めやらぬ7時半からは本題のEMC研修討論会が開催され、どうすれば会員の増強が図れるかにつき熱心な討議がなされました。

討議のポイントは、「魅力あるクラブ活動目標の選定」と「若手会員の獲得方法」の2点に絞られましたが、長老・新入会員の区別なく自由闊達な意見が出され、近年にない極めて有意義な研修会となりました。この討議の結果については、右記の如く「EMC特別委員会」が組織され、今後引き続き検討が行われる予定です。(会議終了10時)

第2日はカッター訓練や、大型クルーザー乗船体験など、海洋センターならではのユニークな企画を楽しみました。

その詳細は島中メネットの体験記に譲りますが、88歳のコックス鈴木謙介君や、平均年齢60歳超のクルーによるカッター訓練はセンター始まっての「珍記録」となりました。

しかし神合い1キロまで漕ぎ出した見事なパワーとチームワークは我がクラブの歴史に永く残る特筆すべきイベントでした。島中会長ご配慮有難うございました。以上

《《《《 10月第2例会 》》》》

【 Report of the October Officer's Meeting 】

(9月25日(水) 6:30~8:30p.m.)

書記・山田孝彦

当日の協議・決定事項は次の通りです。

1. 11月例会プログラム：表記プログラムの通り

2. 12月例会プログラム：

昨年度と同様「合同クリスマス例会」を第1例会とし、第2例会は役員会と納会を実施。納会では出席者全員より「今年を振り返って」と題して発表を願う予定。

3. クラブ運営関係：

①本年度土佐堀クリスマス(12/9)

前述の通り。当クラブは礼拝時の受付を担当。

②第6回チャリティーラン(11/12)

2チーム募集状況確認。出場予定者は下記の通り。

神田、中村茂、島中、(島中メネット?)、藤原、松浦、松浦メネット、山田、山村、葉、(三浦一本部)

③関西のちの電話バザー(11/4)参加者確認

池永メネット、栗山、黒田、隅田メネット、谷川、島中、藤原、松浦メネット、三浦、山田、山村、山村メネット

④中西部評議会宛報告

次期事業主査一BF希望、EMC特別例会一昨年3月。10月例会の協議結果を受け、クラブ3役及び松浦君(新入会員代表)により「EMC特別委員会」を組織し、取組みテーマ、若手会員会費などを協議予定。

⑤インドErnakulam Club BF復縁依頼の件

C.K.Thomas氏より要請があったが、現在の実態からBC継続実施は困難と判断し、会長名の断り状を出状することとした(10/27出状)。以上





（“センテニアル海洋初老団”一同）



（深夜に及ぶ熱心な討議—EMC 討論会にて）

### 「センテニアル海洋初老団」カッターに挑戦！

畠中ひろみ

10月9日午前9時30分、一見元気そうで若そうに見える？センテニアルクラブメンバー15人が大阪青少年海洋センター・カッター桟橋に集合し、はやる心を抑えて若いリーダーの説明や注意に耳を傾けていた。

目標ははるか沖合いをスイスイと気持ちよく漕ぎ進んでいる「海洋少年団」のカッターである。

「海洋少年団」に負けるものかと平均年齢60歳台の我が「センテニアル海洋初老団」は、「權立て！」の合図に応え、右舷に森田、神田、松浦、三浦、山田、畠中、左舷に隅田、栗山、隅田メネット、松浦メネット、谷川、藤原の各6人が位置についた。そして船尾に陣取った鈴木団長と畠中メネットの掛け声で、「イチ、ニー、ソーレ」と先ずは無難に出港した。

外海に出ると意外に波は高く、太陽は熱く、初老団には過酷な条件であったが、皆で心を一つにして沖合い1キロのブイまでたどり着いた。

待機組の黒田メンや救助艇にご迷惑をかけることもなく、約1時間後に全員何とか無事に元の桟橋に着艇した。

（海洋初老団の皆様、帰宅後の筋肉痛や身体の調子は如何でしたか？）

### （（（（（ メネットニュース ）））））

福永 滋子

#### 【メネット会ご奉仕の報告】

10月13日大阪YMCA国際専門学校日本語科の歓迎会が大阪教会であり、私達はセントラルクラブのお手伝いと

して豊中クラブの方々と一緒にご奉仕させて頂きました。前日の12日と当日にかけて私達のクラブからは畠中メネット会長、池永、中村、隅田、松浦、福永各メネットが参加して、約160名分のカレーとゼリーを作りました。

玉ねぎの皮むきで涙を流したり、色々なハブニングもありましたが、若い留学生の皆さんからお代わりをねだられる程おいしいカレーが出来ました。私達も一緒に頂き、楽しいご奉仕のひと時を感謝しました。

留学生の方々の勉学と生活が豊かに守られ、導かれますよう心よりお祈り致します。なお、セントラルクラブより私達に、メネット活動の為にとお礼を頂きました。

### == Yサ・ユースよりの「お願い」 ==

Yサ・ASF委員長 福永 嘉彦

過日、西日本区Yサ・ユース事業主任奥村直彦氏より、下記主旨の依頼がありましたので、皆さんのご協力をよろしくお願い致します。第1回締切りは12月末ですので、11月か12月の例会にお提出願えれば幸いです。

“Yサ・ユース活動資金調達の為、全会員から未使用のテレカ最低1枚、書き損じハガキ最低2枚分のご寄贈をお願いします。現金化して下さるなり、現物寄付なり、どちらでも結構です。”

### （（（（（ 10月BFニュース ）））））

#### 【 Report of the Brotherhood Fund in August 】

BF委員長・隅田 保

◇切手提供者：

山田君、隅田君、藤原君、山村君 殊勲賞：山田君（180g）

◇現金提供者：山田君、山村君

### （（（（（ YMCA ニュース ）））））

連絡職員・神田 尚人

#### ★早天祈禱会

日時：11月17日(金) 7:30~8:30

場所：大阪YMCA会館チャペル

証し：藤江 幸雄氏(日本聖公会大阪教区職員)

#### ★世界YMCA・YWCA合同祈禱週集会

日時：11月13日(月) 18:30~20:30

場所：関西韓国YMCA (AYC)

内容：1部 互いに祈りましょう

2部 交わりを深めましょう

#### ★チャリティーラン2000

センテニアルは2チーム出場、皆で走りましょう！

日時：11月12日(日) 10:00~13:00

場所：浜寺公園 (堺市・高石市)

#### ★教育を共に考える集いII

日時：11月26日(日) 13:30~16:00

場所：大阪YMCA会館

テーマ：「教育改革三國史」

—教育最前線アメリカ、ニュージーランド、日本—

講師：大沼安史氏(教育改革リサーチ研究所主宰)

問合せ：大阪YMCA国際専門学校高等過程



## ◇◇◇ クラブ・ソング ◇◇◇

Once more we stand,  
 New zeal our heart imbuing,  
 We raise our hand,  
 Our service pledge renewing,  
 Ne'er to deny our motto's claim,  
 Y's men in fact as well as name,  
 Always our object to pursue,  
 We consecrate ourselves anew.

oo

## ♂♂♂ ニコニコ・メッセージ ♀♀♀ 【 Messages from the Club Members 】

- 伸び伸びした環境の中で共に食し、クラブのことを話  
 らい、海洋プログラムでチームワークを発揮しまし  
 ました。島中会長、海洋センターの皆さん、感謝です。  
 (神田 尚人)
- 40年ぶりでボートを漕ぎました。明日からの筋肉痛が  
 思いやられます。(栗山 佳三)
- 生まれて初めてと言ってよいほど新鮮な魚介類のバ  
 ーベキューを堪能しました。(黒田 巖之)
- 島中さん世話になりました。海鮮料理もよかったです。  
 カッターを皆で漕いだのもよかったです。またやりましょ  
 う。(谷川 寛)
- 前代未聞！海の男(女)に一日なってきました。大阪  
 府の海洋センター(所長がなんと我がクラブ島中彬  
 君)の、そしてメネット会長島中ひろみご二人の大変  
 なお世話を受け、カッターを漕ぎ、クルーザーに乗り  
 関空の直ぐ側まで往復してきました。ホントですよ。  
 嬉しいやら感激するやら、ニコニコ記念が黄金で溢れ  
 た。メネットさん達は中々の漕ぎ手であったことを特  
 記。(鈴木 謙介)
- 一泊研修、思いがけずカッターに乗り、帆走を楽しみ、  
 いい経験をしました。会長に感謝致します。  
 (隅田 保)
- 一泊二日の研修会、非常に充実した時間でした。特に  
 海上でのチームワークは最高で、とてもよかったです。  
 島中会長お世話になり有難うございました。  
 (隅田 恵子)
- 一泊二日の合宿例会に参加でき有難うございます。  
 海鮮バーベキューの後は今後の当クラブのあり方を  
 まじめな討論、翌日はカッタークルーザーと海洋セン  
 ターならではのプログラムに大満足でした。センター  
 の職員の皆様有難うございました。(島中ひろみ)
- これまで色々な経験をしてきましたが、カッターを漕  
 いだのは初めてでした。(しかも漕ぎ手の平均年齢が  
 60歳超とは)。乗る前と乗った後でこんなに印象が違  
 うとは考えもしませんでした。何でも挑戦してみるも  
 のですね。とれたての魚介類や森田メン特製のヤキノ  
 バなど、楽しいバーベキューパーティー、一転して真  
 剣な討議となった夜のEMCミーティングなどなど、  
 本当に充実した研修会でした。島中会長ご夫妻有難う  
 ございました。(藤原 正巳)

- 野趣溢れる豪華海鮮バイキングを楽しみました。カッ  
 ターに乗り漕ぐのは生まれて初めての体験。クルーザ  
 ーでの驟雨も得がたい体験でした。海洋研修のホンの  
 一端でしょうが満足しました。島中会長夫妻に感謝し  
 ます。(松浦 孝次)
- 海洋センターでの1日はとても楽しいものでした。  
 バーベキューパーティーでは新鮮な魚介類を沢山食  
 べて大満足でした。カッターではうまく漕げず、前の  
 谷川さんの背中を何回もこそげてしまいました。ゴメ  
 ンナサイ！(松浦 和子)
- 海洋センターで海の素晴らしさを体験しました。広々  
 とした海を見て心もすっきりしました。(三浦 直之)
- 9月末に呼子高原でネイティブアメリカンのセレモ  
 ニー、ビジョンクエストに参加しました。一昼夜山に  
 こもり、木や風や満天の星と話し、感謝と祈りの素晴  
 らしさを知りました。(森田 誠二)
- 素晴らしい体験プログラムでした。自分の年齢を忘れ  
 るほど楽しく、ハッスルしました。このプログラムを  
 活かして何かのサービス事業ができないか考えてみ  
 ましょう。(山田 孝彦)

## 《《《《 IBCニュース 》》》》

IBC委員長 谷川 寛  
 ハワイ・ヌアヌクラブ・ブリテン「Y's Up」9月号、  
 及び10月号に、IBC交流の素晴らしさを伝える記事が  
 大きく掲載されています。その概略を紹介します。

### ★中村茂高さんの学習体験

モロカイ島でダミアン神父について研究の後、我が  
 クラブを訪問した中村茂高さんは、クラブ例会に参加  
 し、バラエティーに富んだエスニック料理を楽しみ、  
 全ての会員と友情を深めました。

今回のハワイ訪問は中村さんにとって4回目でした  
 すが、ワイズメンとしてブラザークラブを訪問するの  
 は今回が初めてで、会員の皆さんの暖かい友情とアロ  
 ハ・スピリットに心から感謝されています。

中村さんの訪問に期を同じくして、我がクラブのフ  
 ィリス・サカネさんが日本を訪問しましたが、センテ  
 ニアルクラブの皆さんから大歓迎されました。ワイズ  
 ダムは世界の人を一つにし、深い友情と信頼を育みま  
 す。ワイズダムは本当に素晴らしい！

### ★ハワイ・ヌアヌクラブ、フィリス・サカネさん、初の 来日に大感激

谷川夫妻と京都全日空ホテルで再会したのが今回  
 の思い出に残る日本訪問の始まりでした。センテニ  
 アルクラブの皆さんが夕食に招いて頂いた京都の料亭  
 は、見事な岩に囲まれた庭園の中に小川が流れ、最高  
 の雰囲気でした。部屋の飾り、料理のセッティング、  
 おいしい懐石料理など同伴者が王侯貴族の様な気分  
 だと感想を漏らすほどでした。

偶々隣り合わせた舞子さんと記念写真を撮るこ  
 もでき、翌日の平等院見学や京都タワー訪問など、ブ  
 ラザークラブの皆さんの友情とご配慮に感激した旅  
 でした。この思い出を宝物のように大事に致します。